

# むろらん 市議会だより

発行責任者／室蘭市議会議長  
編集・発行／広報特別委員会

温故知新



新型コロナウイルス感染症が蔓延<sup>まんえん</sup>してから3年の月日が流れました。市民の皆さんの多くは、この3年間、会いたい人に会えないなど辛く悲しい思いをしたり、不自由な生活を余儀なくされてきたと思います。また、幼い子どもたちは、友達や保育所・幼稚園の先生のマスク姿の顔しか知らずに生活を送ってきたことと思います。

3月13日からはマスクの着用が個人の判断となり、ゴールデンウィーク明け（5月8日）からは新型コロナウイルス感染症がインフルエンザと同様の扱いとなる予定です。新型コロナウイルス感染症が完全に終息したわけではありませんので、基本的な感染対策は必要ですが、一日も早くマスクを外し、大きな声で笑い合える日がくることを願っています。

## 令和5年第1回室蘭市議会定例会日程

- 2月27日 本会議（開会、会期の決定、市長説明、議案の説明、議案の議決）
- 3月 3日 本会議（追加議案の説明、代表質問）
- 3月 6日 本会議（代表質問）
- 3月 9日 本会議（質疑・一般質問）
- 3月10日 特別委員会（白鳥新道・幹線道路建設促進）
- 3月10日 本会議（質疑・一般質問、各委員会への議案付託ほか）
- 3月13日 常任委員会（総務）
- 3月14日 常任委員会（民生）
- 3月15日 常任委員会（経済建設）
- 3月16日 特別委員会（一般会計予算審査）
- 3月17日 特別委員会（一般会計予算審査）
- 3月20日 特別委員会（特別会計予算審査）
- 3月22日 委員会（議会運営）
- 3月23日 委員会（議会運営）
- 3月23日 本会議（追加議案の説明、各種議案の議決ほか、閉会）

## 第1回定例会開催

令和5年第1回室蘭市議会定例会が、日程のとおり、25日間の会期で開催されました。

今回の市議会定例会は、市長提出議案として令和5年度の一般会計予算をはじめ、特別会計及び企業会計の各種予算を中心に条例改正などを含む議案28件、人事案件2件、議員提出議案として意見書案5件について、審議・議決しました。

# 代表質問



和 結 政 市  
早川 昇三  
はやかわ しょうぞう

## 地域における交通の 利便性の向上について

【問】 イオン室蘭店が、旧公設地方卸売市場跡地に移転するが、驚別駅地下連絡通路の改修の考えは。



イオン室蘭店出店予定地の旧公設地方卸売市場跡地

【答】 イオン室蘭店移転により地下連絡通路の利用者の増

各会派の代表質問および  
答弁から17項目を取り上げ、  
要旨を紹介します。

加が想定され、本市としても安心して利用できる歩行環境の確保が必要と認識しており、アンダーパスの側道も含めた歩行者の安全対策について道路管理者である北海道に整備の要望などを行っていく。

## 物価高騰への対応について

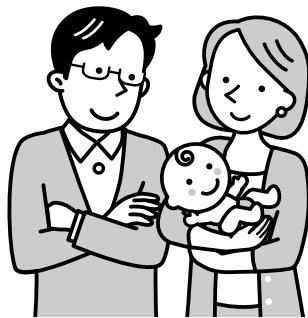
【問】 物価高騰は、市内事業者や市民生活に重大な影響を与えている。市内事業者や市民生活へ対応の考えは。

【答】 本年度の事業者や市民生活への対応は、国の臨時交付金を活用し、生活に支障が生じないよう補正予算を措置し取り組んできたが、来年度の財源措置が現時点で不明であるため、今後の状況や地域経済の実情を踏まえた対応が必要と考えている。

## 子育て支援の取り組みについて

【問】 支援すべき対象を見極めた上で、医療費助成の拡充

や給食費の負担軽減など新たな支援策を検討する考えは。  
【答】 子ども医療費助成については、非課税世帯の小中学生に対して北海道の基準に上乘せする形で拡充している。学校給食費についても令和4、5年度に地方創生臨時交付金などを活用して負担軽減を図ってきた。



## 高砂町における水道水ベンゼン 混入問題について

【問】 約400万円を謝罪金として返金する責任の処し方についての青山市長の考えと謝罪金を10年間とした根拠、住民の受け止めは。

【答】 不安を抱えている住民が少しでも早く安心した生活を送れるようにすることが

急務であり、その取り組みを最優先に進めたい。

初動の遅れにより信頼を損ねた事については、任期中における責任の処し方について検討していく。

謝罪金算出根拠は、10年前から油のにおいを感じていた住民から水道部へ連絡をしていたと言う声があり、初期対応の不備に対する責任があることから住民の声を尊重し10年間とした。

住民からは「市民に寄り添った解決」、「継続的な健康調査」をしてもらいたいなどの声があり、寄り添った対応をしていく。



市民ネット・むろらん  
みずえ かずひろ  
水江 一弘

## 地域医療連携協議について

【問】 市内3総合病院の再編協議は市長就任2期目からの重要課題だが、具体的な課題に何ら踏み込めていない。会議の座長である市長の決断が問われる。

【答】 今後、ワーキンググループを設置することで関係者と合意している。

【問】 12回の会議でほとんど進展が見られなかったことで、多くの関係者に迷惑をかけている。昨年退任された前病院事業管理者が、地域医療を守るための具体論にまで踏み込めなかったのは極めて残念との言葉を残しているが、市長は大いに反省すべきである。

【答】 協議会の中の議論を整理できなかったことについては率直に反省し、今後は具体的な論議を進めていきたい。

## 本庁舎・給食センターについて

【問】 公約にある本庁舎、給食センターの施設更新計画の作成ができなかったのはなぜか。

【答】 厳しい財政状況に加え、市立室蘭総合病院のあり方によっては、多大な繰出金が発生するリスクも踏まえ、検討に時間を要し、計画作成に至らなかった。

【問】 財政状況が厳しいことや市立室蘭総合病院への繰出金リスクは以前より分かっていたこと。市長の判断が遅れ

たことで給食センター設置時期が遅れ、子どもたちの食の安全に課題が残ってしまったのではないかと。

**【答】** 給食センターは耐用年数があり、耐震補強も行ってはいるが、衛生管理基準への対応で課題があるのは事実。今期中に計画作成はできなかったが、登別市との広域設置に向け検討を進めていく。



市内小学校の給食時間

### 中央地区の再生について

**【問】** 中央地区の賑わいづくりに向けた市長の考えは。

**【答】** これまで公共施設整備

や賑わいづくりの実証実験を行ってきた。賑わいづくりに向けては、定住人口を増やすことが重要と考えている。



中央地区の賑わいづくり「たのしま横町」

**【問】** 空き家調査を行ってはいくが、定住促進に向けた市長の施策が全く見られないのではないかと。

**【答】** 土地建物所有者の意向は、現状維持を望むものが多く現時点では面的整備を進めることは難しい。

**【問】** 他都市では、官と民が協力して町の再生に取り組んでいる事例もある。市長の町の再生に向けた積極姿勢が感

じられない。

**【答】** 土地活用の機運を高めることを最優先として取り組む。



公明党室蘭市議会

ほそかわ あきひろ  
細川 昭広

### 客船誘致について

**【問】** 世界最大級のクルーズ船の誘致は、室蘭港のみならず、北海道全体の観光資源を売りにして、オール北海道で取り組むべきと考えるが市長の見解を伺う。

**【答】** 客船誘致は、北海道運輸局や各港湾と旅行会社などで協議会を構成し、横断的に取り組んでいる。新年度も協議会がクルーズ船社のキーパーソンを北海道に招請し、室蘭港の周辺を視察していただく予定。一方、道内の他港には着岸できない世界最大22万トン級のクルーズ船は、室蘭港が招致をリードしている。

北海道観光の魅力をプロモーションすることが重要であり、引き続き国土交通省や北海道の協力を得ながら進める。

### 学校給食センターについて

**【問】** 本市と登別市は給食センターの共同設置に向けて検討を進めているが、学校給食センターは建築基準法上の用途が「工場」であるため「工業用地」、「準工業用地」または「市街化調整区域」での建設に限られ、できるだけ両市中間に位置するような適地はかなり限定されると考える。建設地の選定にあたり、どのような考えを持って登別市と協議しているのか。

また、建設地が示される時期についても伺う。

**【答】** 建築基準法における用途地域の建築制限、周辺環境への影響などさまざまな観点を考慮し、できるだけ両市の中間に位置することが望ましいものの、両市の域内であれば搬送車両の増便や搬送ルートの工夫により、いずれの場所でも調理後2時間以内の喫食が可能であり、運送費にも大きな影響がないと想定していることから、まずは各市で考え得る候補地を選定し協議を行う。建設地を示す時期については、令和5年中を目指す。



共同設置に向けて検討を進める学校給食センター

## 地域公共交通網形成計画に

ついて

**問** 今後、「ちよい乗り白鳥台」の本格的な事業化に向けてどのように取り組んでいくのか、市の見解を伺う。

**答** 利用者の利便性向上、運行事業者の確保、持続可能な範囲で市の負担などを考慮した事業性の確保、将来的な市内の各エリアへの展開の可能性などを主な検討課題として、活性化協議会や交通事業者などと協議を行い検討を進める。



会 緑 新 和 令  
ひでみつ 羽立  
秀光

## 水道水水質基準値超過問題に

ついて

**問** 高砂町の水道水でベンゼンが水質基準値を超過した問題で、市長はなぜ報告を受けた時点ですぐに給水車の出動を指示しなかったのか、その理由と対応について伺う。

**答** 第一報を受けた時点で

既に配水経路を切り替えており、給水車出動の指示はしていない。一方、地域住民の健康への影響が懸念されたため速やかに水質検査を実施し、その後、健康影響調査を指示した。

## 青山市長の3期12年の総括に

ついて

**問** 人口減少や地域医療連携・再編や公共施設の適正化など市長の3期12年の成果と積み残しの課題について伺う。

**答** 主な成果としては、子育て支援策の充実により待機児童がおおむね解消されるとともに老朽危険家屋問題にもいち早く取り組み、支援制度を創設し、解体や跡地利用が進んだ。

また、企業誘致では8社の進出があったなど、雇用創出を図ることができた。

一方で、地域医療や公共施設適正化などの重要課題に対する市民の期待に応えていないとの指摘については、真摯に受け止めている。



日本共産党室蘭市議員  
たむら のぶなり  
田村農夫成

## 平和を守る方策について

**問** 岸田政権は憲法解釈を曲げて、先制攻撃も許されると言っている。真珠湾攻撃と同じではないのか。

憲法9条は平和を守る宝であり、平和でなければ、市民を守ることはできない。憲法のなし崩しを許さぬ、毅然とした決意を青山市長に求める。

**答** さまざまな課題を抱える国際情勢を考慮しつつ、平和を守るために慎重かつ適切に判断されることを望んでいる。

## 市立室蘭総合病院を残す方策

について

**問** 赤字と言って3総合病院の再編・統合協議を進めることは、市立室蘭総合病院がなくなることにつながる。残すためには、最後は、やはり市立室蘭総合病院にお願いすると市民に言われる病院に改めることが大事ではないか。

そのため統合協議は止め、市民とよく話し合い、相談し、市民に頼りにされる病院づくりが大事ではないか。

**答** 再編協議は、市民の皆さんが安心して医療を将来にわたって受けられる環境と体制を作っていくことを目的としている。



市立室蘭総合病院

## PCB廃棄物処理について

**問** 今後、福島からの放射性物質で汚染されたPCB廃棄物が発見された場合、今回と同じように「違法を見て見

ぬふり」をして処理するのか。

**答** 本市としては、現時点で再処理に関する考えはない。

## 介護保険制度について

**問** 介護の利用者負担が2倍になった場合、サービスを止めるか、負担増を我慢するか、大変な選択を迫られることは明らかである。本市の後期高齢者で利用者負担が2倍となる2割負担該当者は、2千700人もいる。市長は、2割負担はやめるべきと国に伝えるべきだ。保険者の責任としての市長に決断を求める。

**答** 具体的な内容が示されていないので、国の動向に注視しつつ対応していきたい。

## 物価対策について

**問** 物価高騰対策として、世界中で消費税を引き下げている。市民生活を守るためにも市長が先頭に立って国に引き下げを求めるべきではないか。

**答** 消費税については地方の一般財源確保の議論の中で検討すべきものと考ええる。

## 質疑・一般質問

議員6人の質疑・一般質問  
および答弁から14項目を取り上げ、要旨を紹介します。



和 結 政 市  
お け だ けんいち  
岡 田 健 一

### ごみ処理・リサイクル事業のあり方について

〔問〕 昨年4月から指定ごみ袋が変更され、従来のごみ袋より破れやすいとの声を聞いているが、改善の考えについて伺う。



本市で取り扱っているごみ袋

〔答〕 新しい指定ごみ袋の素材は、引き続き高密度ポリエチレンを採用し、以前から市民要望があった強度の改善を図るため、従来品より厚くしている。

しかし、市民から「持ち手が切れやすい」、「以前より破れやすい」などの意見も伺っていることから、製造メーカーと協議を行うなど引き続き改善を図る。

〔問〕 5リットルのごみ袋導入の検討結果などについて伺う。

〔答〕 ごみ処理手数料の改定に伴う負担の緩和や高齢化などの観点から、導入を検討したが、本市では10リットルのごみ袋の使用割合が低いことから、5リットルのごみ袋は効果が限定的と見込まれた。

また、室蘭市ごみ処理・リサイクル事業あり方検討委員会で収集作業の負担増加になるとの指摘もあり導入を見

送った。

### 学校部活動の地域移行について

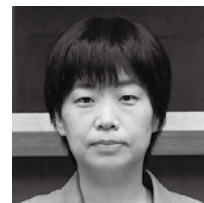
〔問〕 現在、学校部活動の地域移行について検討がなされているが、その内容とスケジュールについて伺う。



〔答〕 所属校以外の学校において部活動を実施する拠点校方式を検討している。関係者と連携し、可能な限り多くの部活動を地域移行していきたいと考え、体制が整った競技種目から取り組みを進める。

令和5年度は関係者への聞き取りなどを行い、令和6年度の新しいチームへの移行時期を

開始時期と想定し、準備を進める。



市民ネット・むららん  
た き ぐ ち ひろこ  
滝 口 紘 子

### ジェンダー平等について

〔問〕 同性パートナーシップ制度の導入時期は。

〔答〕 令和6年度を目途に進める。

〔問〕 第3次室蘭市男女平等基本計画では、室蘭市がどういう多様性と包摂性がある社会を目指すのか明確にし、市民に周知していくべきでは。

〔答〕 誰もが自分らしく暮らせる社会の実現に向け、今後（仮称）パートナーシップ検討委員会、男女平等参画推進市民会議や性的マイノリティ当事者と協議し検討する。

〔問〕 女性の雇用や技術者を増やす企業の後押しを進めるべきでは。

〔答〕 女性技術者の割合が2.3%と全道平均よりも低い。えるぼし認定（※1）は企業のイメージアップや将来的な

人手不足解消の一助になるため、認定制度の周知のほか、引き続き女性の就業機会の創出に努める。



### 高卒就業者への支援について

〔問〕 ユースエール認定制度（※2）を受けている企業数が伸びない。室蘭の企業の働きやすさを管外にPRすることにもつながるが、増やすための取り組みは。

〔答〕 具体的なメリットを示すとともに、働きやすい職場環境づくりに向けた支援の検討、実施に努める。

〔問〕 インターンシップの受け入れ企業の拡大や、ミスマッチ率を低下させる取り組み、離職後のサポートは。

**【答】** インターンシップは、高校や企業の動向・ニーズを確認し、双方をつなげる取り組みを進める。企業情報や採用情報を高校や求職者などに向けて広く発信する。



市民ネット・むろらん  
さとろ じゅん  
**佐藤 潤**

### 首長の能力、資質、リーダーシップについて

**【問】** 首長は、庁内全体を管理し、総合的に判断し、イエス、ノーを即座に決断する能力と資質が求められるとともに、十分にリーダーシップを発揮しなければならないと考えるが、市長自身の認識は。  
**【答】** 将来を見据えながら、職員との信頼関係を築き、市政の発展と持続可能なまちづくりに向けていく姿勢が首長の資質や能力であり、市政を預かる者の責務である。

### 白鳥台地区の義務教育学校について

**【問】** 小中学校では授業体制の違いがあり、開設に向けて課題があると考えますが、義務教育学校のメリットは。  
また、今までのカリキュラムの違いについて伺う。



義務教育学校への移行を予定している白蘭小学校

**【答】** 中一ギャップの緩和、解消による不登校やいじめの減少、教科担任制による学習指導など多くの教員が子どもたちの成長に直接かかわること、意欲向上や学習への理解度を高めることが可能となる。

### 高砂町水道水の汚染について

**【問】** 健康調査では、水道水や大気中のベンゼン濃度が基準値以下にもかかわらず、検査結果の数値が高い人がおり、健康被害が深刻なため、数値を下げる抜本的対策が必要と考えるが、対応策はあるのか。



和 結 市 政  
げんいち かなはま  
**元一 金濱**

**【答】** 健康影響評価検討委員会からは、ただちに健康に影響はないものの継続的な健康観察が必要であるとの話をいただいている。今後の健康調査については、委員会から実施時期や内容について意見を伺いながら対応していく。

### 本市の商業振興について

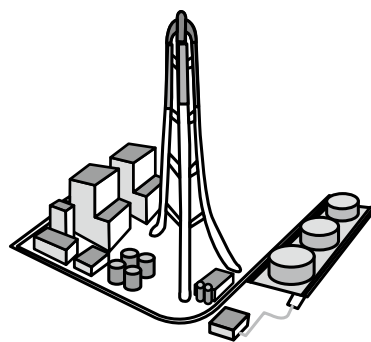
**【問】** 空き店舗対策や定住人口対策としての市内創業支援等事業の令和5年度予算と門戸拡大の考えは。

**【答】** 予算については、これまでの利用実績や傾向などから算定。門戸拡大については、

市民アンケートにより空き店舗に限定しない助成、業種や若者に対する加算制度を設けた内容としている。

### 伊達火力発電所休止における本市の影響について

**【問】** 伊達火力発電所休止による本市への直接的影響は。



**【答】** 燃料の送油用パイプラインなどの設備設置に伴う道路占有料や発電設備立地および周辺自治体に交付される電源立地交付金など概算で400万円程度の影響が予想されている。

### 室蘭市共同墓について

**【問】** 利用想定数が3倍を超える中で増設の考えは。

**【答】** 共同墓の利用が増加傾向にあることから、利用状況を注視しながら増設が必要となる適切な時期について判断する。

### 中島地区公園機能再編方針について

**【問】** 中島地区の6街区公園の新設および廃止の考えは。  
また、中島町の市有地「通称・お元気広場」の街区公園の考えは。



イベントで賑わう中島町の「お元気広場」

**【答】** 現時点では機能再編で考えているが、将来的には地域の意向を把握しながら廃止

などの可能性も含め検討していく必要があると考える。お元氣広場は、街区公園とせず地区の賑わいや回遊性を生み出す都市施設の広場として検討する。



公明党室蘭市議会  
すなだ なおこ  
砂田 尚子

**青山市政における財政運営について**

**【問】** 3期12年を通して、財政状況に改善効果のあった取り組みは。

**【答】** 歳入では、未利用財産の売却推進により令和3年度までで約25億円の売却収入があったほか、ごみ処理手数料の見直しをはじめ受益者負担の適正化を図るなど、自主財源の確保に取り組んだ。歳出では、職員体制の適正化により退職手当を除く人件費で平成23年度と比べ約9億円減少し、東京事務所廃止や公立保育所民営化も進めた。さらに公社用地の買戻しを完了し、土地開発公社を解散するなど、

歳入・歳出両面で行財政改革を進めてきた。

**【問】** 行財政改革を進めてきたことで改善されている財政指標もあるが、決算で一般財源収入が毎年2億円程度減少してきていることを考えると決して楽観視はできない。市長就任時と比べ、本市の財政状況をどのように総括しているのか。

**【答】** 人口減少などにより、一般財源収入が年々減少している厳しい状況下にあるが、交付税措置のない市債の発行抑制などにより、実質公債費比率は近年同水準で推移している。

また、今後の財政需要に備えた基金への積み増しにより市民一人あたりの基金残高が増加し、将来負担比率も大幅に減少していることから、財政状況は12年前と比べ悪化していないと考えている。

一方で、廃棄物新中間処理施設建設に伴い、今後、公債費負担の増加が見込まれるため引き続き、不断の努力で行財政改革に取り組み、効率的な財政運営に努めていく必要がある。



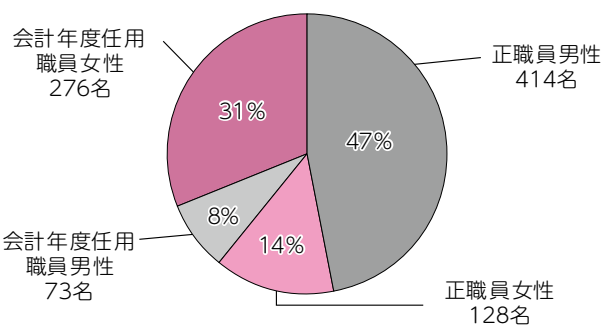
日本共産党室蘭市議団  
ときわい しげき  
常磐井茂樹

**会計年度任用職員制度について**

**【問】** 会計年度任用職員の任用状況について伺う。

**【答】** 会計年度任用職員の任用状況は、本年3月現在、一般・特別会計で39名が在籍し、このうち男性は73名、女性は276名、平均在籍年数は約8年となっている。

室蘭市職員数の割合（特別職、企業会計除く）



**【問】** 制度運用から3年が経過するが、この間に処遇はどのように改善されたのか伺う。

**【答】** 2年連続の期末手当支給月数引き下げにより、事務補助員では年間2万5千400円の減額となったが、1月から報酬月額を増額改定を行うとともに、現給保障期間を延長し、継続して実施したい。

**子どもの貧困対策について**

**【問】** 本市の就学援助制度の認定率は全国・全道平均を下回っている。これらをどのように分析し、要因はどこにあると考えているのか伺う。

**【答】** 就学援助認定率が低い要因は、経済情勢のほか子育て支援策や貧困対策の取り組みなど、さまざまな要因がある。

今後、教育委員会からの文書については支援を必要とする家庭に分かりやすい内容となるよう、他都市の例も参考にしながら改善していきたい。

**【問】** 憲法第26条第1項に、すべての国民は教育を受ける権利を有するとある。その権利を保障しているのが、第2項で義務教育は無償とされて

いる。つまり、すべての子どもが義務教育を受けるための経済的保障が「公教育の無償の原則」ではないか。給食費の軽減は学校開設者である自治体の判断でできるといふことではないか。

**【答】** 令和5年度の給食費は、国の財源活用により据え置けることができたが、今後も社会情勢や財源確保など状況に応じて慎重に判断したい。



**【用語解説】**

※1 **えるぼし認定**：女性活躍推進法に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍促進に関する状況などが優良な企業を認定する制度

※2 **ユースエール認定制度**：若者の採用・育成に積極的で、若者の雇用管理の状況などが優良な中小企業を認定する制度



らいとあっぷ

## 新たな議会改革とは

早稲田大学マニフェスト研究所では、2022年中の地方議会のデジタル化や成り手対策の取り組みなど、議会改革状況の実施状況に関する「議会改革度調査2022」を行い、先ごろ、その調査結果が公表されました。【回答率 79.2% (1,416議会/1,788議会)】

本市においても議会のあり方をさまざま検討してきましたが、なによりコロナ禍にあって、まずは感染症対策として、換気や消毒は当然のこと、出席者全員がマスクを着用したままの質疑の徹底、委員会における出席者の厳選などの3密対策を実施し、結果、開会中の感染者が0のまま、予定どおり、議会を開催することができました。

この間、本会議・委員会へのタブレット・ノートパソコンなどの端末の持ち込みを可とし、ペーパーレス化、デジタル化へ向かう端緒を開いたり、室蘭市議会業務継続計画を基に災害対策訓練を実施したことで、災害発生時の市役所との連携や、議会活動、ひいては市民生活の迅速な機能回復のための継続的な取り組みの必要性を改めて確認しております。

さて、5月8日には新型コロナウイルス感染症が5類となるなど、社会はアフターコロナという新しい段階に移行します。我々議員も、4月の統一地方選において新たな顔ぶれとなります。本市最大の課題である「人口減少対策」はもとより、議会のDX推進や議員の成り手不足問題など、取り組むべき多くの課題を前にして、室蘭市議会も次のステージへ向け、さらなる議会改革に取り組む必要性をひしひしと感じています。

### 市議会ホームページをぜひご覧ください！

室蘭市役所ホームページ ⇒ [「市議会ホームページ」](#)  
[「議会中継」](#)

※本会議及び委員会がライブ中継または録画放送でご覧いただけます。  
スマートフォン、タブレット端末からも閲覧できますので右の二次元コードからアクセスしてください。



### 令和5年第2回室蘭市議会定例会 会期（予定） 6月5日（月）～6月28日（水）

※会期の決定および日程の詳細につきましては、6月1日（木）開催予定の議会運営委員会終了後、市議会ホームページ〔議会日程〕に掲載いたします。

### 編集後記

令和5年第1回定例会では5会派の代表質問と6名の質疑・一般質問が行われました。

また、今定例会を最後に6名の議員が勇退されました。

コロナ禍でも「開港150年・市制施行100年」を無事に迎えることができましたが課題は山積みです。まずは、次の「開港160年・市制施行110年」へ向け、市議会も新人議員を含め新たな船出となります。今後も市議会だよりやSNSなどを通してもっと議会活動を発信していきますのでご期待ください。

（柏木）

### 令和5年第1回定例会議決結果 会期：令和5年2月27日（月）～ 3月23日（木）（25日間）

番号	件名	議決結果
議案第1号	令和5年度室蘭市一般会計予算	原案可決
議案第2号	令和5年度室蘭市国民健康保険特別会計予算	〃
議案第3号	令和5年度室蘭市介護保険特別会計予算	〃
議案第4号	令和5年度室蘭市後期高齢者医療特別会計予算	〃
議案第5号	令和5年度室蘭市水道事業会計予算	〃
議案第6号	令和5年度室蘭市病院事業会計予算	〃
議案第7号	令和5年度室蘭市公設地方卸売市場事業会計予算	〃
議案第8号	令和5年度室蘭市港湾整備事業会計予算	〃
議案第9号	令和5年度室蘭市下水道事業会計予算	〃
議案第10号	室蘭市開港150年・市制施行100年記念事業基金条例廃止の件	〃
議案第11号	室蘭市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例中一部改正の件	〃
議案第12号	室蘭市斎藤文庫基金条例中一部改正の件	〃
議案第13号	室蘭市民美術館条例中一部改正の件	〃
議案第14号	室蘭市国民健康保険条例中一部改正の件	〃
議案第15号	室蘭市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例中一部改正の件	〃
議案第16号	室蘭市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例中一部改正の件	〃
議案第17号	室蘭市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例中一部改正の件	〃
議案第18号	室蘭市手数料条例中一部改正の件	〃
議案第19号	室蘭市水道事業、下水道事業及び工業用水道事業の設置等に関する条例中一部改正の件	〃
議案第20号	西いぶり消防通信指令事務協議会の設置に関する協議の件	〃
議案第21号	市道路線認定の件	〃
議案第22号	教育委員会委員の任命について同意を求める件	同意
議案第23号	令和4年度室蘭市一般会計補正予算（第9号）	原案可決
議案第24号	令和4年度室蘭市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	〃
議案第25号	令和4年度室蘭市介護保険特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第26号	令和4年度室蘭市水道事業会計補正予算（第2号）	〃
議案第27号	令和4年度室蘭市下水道事業会計補正予算（第1号）	〃
議案第28号	令和4年度室蘭市一般会計補正予算（第10号）	〃
議案第29号	室蘭市長及び副市長等の給料月額の特例に関する条例制定の件	〃
諮問第1号	人権擁護委員候補者推薦の件	承認
意見書案第1号	森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書	原案可決
意見書案第2号	新型コロナウイルス感染症の5類への移行に際して、公的支援の維持及び後遺症対策の強化を求める意見書	〃
意見書案第3号	認知症の人も家族も安心な社会の法整備を求める意見書	〃
意見書案第4号	LGBTQに関する差別を解消し、人権を守る法整備を求める意見書	〃
意見書案第5号	岸田政権が進める「大軍拡大増税」に反対する意見書	否決